

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

# AWS Elemental MediaStore サービスレベル契約

最終更新：2022年5月2日

本AWS Elemental MediaStore サービスレベル契約（「SLA」）とは、AWS Elemental MediaStoreの使用について規定するポリシーをいい、AWS Elemental MediaStoreを使用する各アカウントに個別に適用される。本SLAの契約条件と、[AWSカスタマーアグリーメント](#)または利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との間の他の契約（「本件契約」）の契約条件との間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本SLAの契約条件が適用される。本SLAにおいて使用する用語（英文では大文字で始まるもの）のうち、本SLAで定義されていないものは、本件契約で定められた意味を有するものとする。

## サービスコミットメント

AWSは、月次請求期間において、各AWSリージョンでAWS Elemental MediaStoreを99.9%以上の月間稼働率で利用可能にするため、商業上合理的な努力を行う（「サービスコミットメント」）。AWS Elemental MediaStoreがサービスコミットメントを満たさない場合、利用者は以下のとおりサービスクレジットを受け取ることができる。

## サービスクレジット

サービスクレジットは、所定のAWSリージョンの月間稼働率が以下の表に定められている範囲に該当する月次請求期間について、AWS Elemental MediaStoreに対し利用者が支払った以下の料金の割合として計算される。

月間稼働率	サービスクレジット率
99.0%以上、99.9%未満	10%
95.0%以上、99.0%未満	25%
95.0%未満	100%

サービスクレジットは、AWS Elemental MediaStoreについて今後請求される支払いに対してのみ適用できる。当社はその裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行

することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、**AWS**から返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレジット金額が1米ドル（\$1 USD）を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。本件契約に別段の規定がない限り、**AWS Elemental MediaStore**の提供において、当社による利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合の利用者の唯一かつ排他的な救済は、本**SLA**の契約条件に従いサービスクレジット（該当する場合）を受け取ることである。

## クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、[\*\*AWSサポートセンターでケースを作成することにより\*\*](#)、請求（リクエスト）を提出する必要がある。対象となるには、インシデント発生後、2回目の請求期間の末日までに、以下の情報を添えてクレジットのリクエストを当社に提出しなければならない。

- (i) 件名に「**SLA Credit Request（SLAクレジットリクエスト）**」という文言
- (ii) 利用者が主張しているエラー率（ゼロ以外）の各インシデントの日付と時間
- (iii) 利用者が主張する停止のエラーを記録するリクエストログ（これらのログ内の機密情報または機微性の高い情報は削除するかアスタリスク（\*）で置き換えること）

かかるクレジットリクエストに関する月間稼働率を当社が確認し、サービスコミットメント未満であった場合、当社は、クレジットリクエストが行われた月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。上記要件を満たすクレジットリクエストおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

## AWS Elemental MediaStore SLAの例外事由

サービスコミットメントは、(i)不可抗力事由もしくは該当する**AWS Elemental MediaStore**サービスの責任分界点を超えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的支配の及ばない要因に起因する、(ii) 利用者の行為もしくは不作為に起因する、(iii) **AWS**サイトの**AWS Elemental MediaStore**ユーザーガイドに記載されたベストプラクティスに従っていないことに起因する、(iv) 利用者の装置、ソフトウェアもしくはその他のテクノロジーに起因する、または (v) **AWS**アグリーメントに従った、**AWS Elemental MediaStore**サービスを利用する利用者の権利の停止もしくは終了に起因する、**AWS Elemental MediaStore**サービスの利用不可状態、停止もしくは終了、またはその他の**AWS Elemental MediaStore**サービスのパフォーマンス上の問題（以下、総称して「**AWS Elemental MediaStore SLA例外事由**」という）には適用されない。当社がエラー率の計算に使用した要因以外の要因が可用性に影響を与えている場

合には、当社は、その裁量により、当該要因を考慮してサービスクレジットを発行することがある。

## 定義

- 「エラー率」とは、(i) **AWS Elemental MediaStore**が返すエラーの総数を、(ii) 所定の5分間のインターバル中のリクエスト総数で除したものを意味する。所定の5分間のインターバルにリクエストを行わなかった場合、そのインターバルのエラー率は0%であると想定される。エラー率を、月次請求期間における5分間のインターバルごとの定率として計算するものとする。エラー率の計算には、**AWS Elemental MediaStore SLA**例外事由に直接または間接的に起因するエラーは含まれない。
- 「エラー」とは、**500**または**503**の**HTTP**エラーレスポンスが返されるリクエストをいう。
- 「イングレスリクエスト」とは、メディアセグメント、マニフェストセグメント、またはアップストリームソースからのその他のファイルを送達するために**AWS Elemental MediaStore**イングレスエンドポイントを呼び出すことをいう。
- 所定の**AWS**リージョンの「月間稼働率」は、月次請求期間における各5分間インターバルのエラー率の平均を**100%**から差し引いて計算する。
- 「オリジネーションリクエスト」とは、メディアセグメント、マニフェストファイル、またはその他のファイルをリクエストするために**AWS Elemental MediaStore**オリジンエンドポイントを呼び出すことをいう。
- 「リクエスト」とは、オリジネーションリクエストまたはイングレスリクエストという。
- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされる、上記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。